

3月の取り組み

女性の役割を考える

3月5日、2016年あびら女性の集いが町民センターで開催され、約100名の女性が集まりました。

旭川赤十字病院第一小児科 諏訪清隆部長を招き、昨今の電子メディアが子どもにも与える影響をテーマに講演。乳幼児に見られるメディアの影響が、親子関係の形成や子どもへの脳の発達に著しく影響することを訴えていました。



OBと現役が白熱試合

3月6日、第11回アンガスカップが研修センターで開催されました。

結成から11年目となった早来フェリーレフトボールクラブのOBや現役選手のほか、サッカー好きの少年、成年らで結成された15チームで熱戦を展開。メンバー平均13歳のフェリーレFCクラブチームが優勝し、力の源となる内藤牧場のアンガス牛を獲得しました。

町内の若者が交流

3月13日、町内の若者を対象とした1日交流イベントが、町内で活動する団体「若者塾」の主催で行われました。

今回のイベントは、軽スポーツなどを通し、若者同士が交流を深めるというもので、参加者からは「久しぶりに運動して楽しかった」「普段会わない人たちと交流ができて良かった」との声。体を動かし、爽やかな汗を流しながら、楽しい時間を過ごしていた安平町の若者たちでした。



南早来変電所大型蓄電システム実証施設竣工

北海道電力は、国が募集した「平成24年度大型蓄電システム緊急実証事業」に住友電気工業株式会社と共同で応募し採択され、約3年の時間を費やし施設が完成しました。

この施設では、蓄電池許容量約6万キロワット時の世界最大級の「レドックスフロー電池」が設置されており、風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、気象の変化で変動する発電出力を平準化するため



の調整や余剰電力の蓄えなどの性能実証、最適な制御技術などを開発する実証実験を行うこととなっています。

レドックスフロー電池は、充放電を繰り返すことで寿命が短くなる電池に比べ、充放電の制限がなく、長寿命が特徴、燃えにくく、電池の残量が正確に測定できるとされています。

3月9日、遠浅の南早来変電所構内で式典を行った後、町民センターで竣工祝賀会が催され完成を祝っていました。

